補助八割低資二割にて小船六千隻建造を決定

農林省議に基いて先づ一千隻分

縣で資金配當決す

本縣沿岸の水產復舊復興につき農林省議は十七日三百萬圓の國庫補助と四百萬圓の低資を融通するに決し小船建造は六千隻で八割は國庫補助二割は低資であるが縣では取敢ず急を要する一千隻の建造資金を左の如く配當各漁業組合に貸付ける事に決した尚一隻の建造資金は櫓、カイを含め一千圓であると

▲氣仙郡　氣仙町一〇隻、高田町一、米崎村八、小友村一三、廣田村一八、末崎村四〇、大船渡二〇、赤崎六〇、綾里村三四、越喜來村一九、吉濱村一六、唐丹村二六

▲上閉伊郡　釜石町二五、鵜住居村一九、大槌町三八

▲下閉伊郡　船越村三四、織笠村九、山田二、大澤村九、津輕石村五、磯鷄村一九、宮古町四五、重茂村四二、崎山村三〇、田老村一二、小本村三四、田野畑村五一、普代村四三

▲九戸郡　久慈町四、侍濱村二三、野田村一八、宇部村二一、種市村三一、中野村一三、長内村一四、夏井村七

四、その他打合

關係各省では復興事務に大童

奥田課長歸廳談

上京中の奥田教育課長は學務關係震災復興費要求額の交渉を遂げ十七日歸廳した同課長は語る

鳩山文相にも直接お會ひして教育關係震災復興計畫を説明したが大臣も非常に同情され文部省として出來得るだけの範圍で本縣の要求をいれてくれるとの事で大体容認されたのは義務教育費國庫負擔金增額の八萬六千圓、小學校設備費補助二萬圓、兒童給食費五萬六千圓、小學校建築費五千五百圓、教員住宅建築費四萬圓で住宅建築は更に八千圓を增額され兒童就學奬勵費中給食費は十分の四に減額、教員死亡賜金は認められなかつた文部省に限らず關係各省は本縣震害にいたく同情し農林省の如きは午前五時から縣の關係事務を處理しつゝある有樣だ

岩手輕鐵買收と災害地復舊有望

首相鐵相痛く同情

町長社長交々語る

岩手輕鐵買收並に災害地復興運動のため上京中の梅津花卷町長、三鬼輕鐵社長は十七日朝歸町したが兩氏の歸町談を綜合すると次の如くである

今度の陳情は震災害で沿岸地方の後方連絡の必要が一層痛感されたのでその實狀を訴へて來たのであるが三土鐵道大臣を始め各閣僚も充分諒解され請願書は貴衆兩院に提出したが採託に決定する模樣で八年度に於て行ふ事と測量も實測に近い測量を行ふ事と鐵道大臣が言明して居られた結局今度の災害で買收問題が好轉した形である復興問題に就ても各町村の代表者約三十名と共に齋藤首相、後藤農相並に各方面を歴訪陳情して來たが非常に同情を寄せられてゐた

×

鐵道省監督局業務課長早川亨、復興局一課長梅津英一兩氏は岩手輕鐵會社の業務檢査のため十八日來花、檢査の後釜石方面の縣道に向ふ豫定

×

花卷輕鐵買收並に災害地復興運動のため上京中の梅津花卷町長、三鬼輕鐵社長、加藤同社總務課長は十七日午前八時三十一分着列車で歸町した

產組復興協議

日割決定

三陸沿岸災害地產業組合數は三十七組合五千名餘に達し產組擴充五ケ年計畫第一年度に當り此の慘禍は沿岸組合擴充の第一歩に一大支障を加へられたが罹災組合の復興及び更に將來への發展の爲此の機會を機として轉禍爲福の途を講じ一層進展を計るべく罹災地產業組合復興協議會を開催することになつた日割は

▲二十一日　大船渡小學校

▲二十四日　釜石町役場

▲二十六日　宮古町漁業組合

右會議出席者は中央會金井主事、中金理事、縣信聯岩手支會、縣產組係罹災組合役職員關係町村長其他であるが協議事項は左の如し

一、震災復興に對する產業組合としての對策如何

二、罹災地產業組合擴充計畫に關する件

三、復興資金に關する件

三陸地方災害救濟追加豫算提案

藏相言明

衆議院豫算總會（十七日）

（東京電話）衆議院豫算總會は十七日午前十時五十分開會

一、（第一號）昭和八年度歲入歲出總豫算追加案

一、（特第一號）昭和八年度各特別會計豫算追加案

一、（追第一號）豫算外國庫の負擔となるべき契約をなすを要する件

の三案を一括し議題に供し高橋藏相より提案理由の説明ありたる後通告順により質疑に入り

▲太田正孝君（政友）政府は今回の追加豫算を最後として今議會にこれ以上の追加豫算を提出しないか又三陸震害地救濟追加豫算を提出するか

▲高橋藏相　今議會に三陸地方災害救濟に關する追加豫算を提案する考へである

▲太田君　追加豫算に揭げられた東拓補給金につき説明されたい

▲永井拓相　爲替低落のため六百萬圓の爲替差損金を生じてゐるので政府として補助をなしてゐるが前から百五十萬圓を補給するに至つた次第である

▲太田君　東拓の朝鮮樺太における整理地に對しては如何なる方針を取つてゐるか

▲北島殖產局長の答辯あり次いで

▲内田信也君（政友）現在海軍工廠資金は幾何あるか

▲大角海相　一千六百七十五萬圓で八年度の二十五萬圓を加へて一千七百萬圓となる

▲内田君　法定の三千萬圓に比して尚ほ三百萬圓余裕があるが今回臨時に三千萬圓を要求したのは何故か

▲大角海相　全く一時的の物品材料費の補足であつてこの借入金は成るべく早く返却する積りである

次に山桝儀重君（民政）繭の共同保管施設につき松村農林參與官に質し

▲松村農林參與官　生繭一貫目につき十五錢位の補助をなす積りである

▲松實喜代太君（政友）北海道の水災は道廳の調査によれば約三千萬圓に及んでゐるに拘らず政府は何故北海道の根本的治水計畫費を八年度豫算に計上しなかつたか

これに對し高橋藏相の答辯ありその他二三問答あつて午後零時二十分休憩

◇

衆議院豫算總會は午後二時再開

▲宮澤裕君（政友）司法官赤化問題について法相は焦眉の對策として如何なる處置をとつてゐるか

▲小山法相　監督官をして充分監督を行はしめると共に司法官の在學當時より思想經路についても調査を行つてゐる

▲宮澤君　司法官をして赤化思想に感染せしめざる樣講習會を開いては如何又思想轉向者に對する司法當局の對策如何

▲小山法相　思想轉向者にしてその眞實が認められた場合には適當の處置を講じてゐるが轉向の眞僞の判明は難しい

▲宮澤君　司法當局は佐郷屋に對して死刑を判決し乍ら三田村四郎を死刑とせざる理由如何

▲小山法相　双方とも目下審理中で且つ判決につき法相として口を入れることは出來ない

▲宮澤君尚もくど／＼しく新聞雜誌の取締等について松本警保局長と問答し更に赤化教授の取締に關し文部當局の所見を質し次いで

▲山桝儀重君（民政）司法當局は今回刑務所職員を增加してゐるが如何なる必要によるか

▲小山法相　最近治安維持法違反者が增加したので刑務所職員に不足を來したために豫算を計上したのである

▲山桝君　青年訓練所と補習學校との合併につき文部當局は既に成案を得てゐるに拘らず陸軍當局は何故にこれに同意しないか

▲荒木陸相　青年訓練所は在營年限に關係があるので補習學校との併合後の適當なる方法につき調査中で近く解決する

▲西田敬吉君（政友）聯盟脫退決定以前に重要外交文書が漏洩したことを聞いてゐるがその事實如何

▲内田外相　何等辯明しかねる

▲西田君　張學良沒落の報道に關し政府の見る所如何

▲内田外相　張學良が上海に行つてゐることは今日では最早間違ひないと考へるがこれが果して自分から云ひかねる

▲西田君　長城以南に緩衝地帶を設ける事につき交涉した事實ありや

▲内田外相　何等交涉した事はない

▲加藤鯛一君（國同）外交上の重要文書が閣僚中より漏洩するが如き事實ありとすれば重大なる官規の紊亂である

▲齋藤首相　目下調査中で今明答へする事は出來ない

加藤君更に外船輸入に關する遞信拓務兩省間の紛議について質しこれに對し牧野遞信、堤拓務兩政務次官より共に目下調査中である旨を答へ次いで加藤君尙海軍外交兩問題について質し河野一郎君（政友）中野寅吉君（政友）より二三質問あり午後五時二十分散會した

五局に對し低資融通

（仙臺電話）三陸沿岸震災により被害を受けた郵便局に對し仙臺遞信局より低利資金の融通を爲し復舊せしめる事に決定したが關係地方の分左の如し

△岩手縣　田老局二千圓、越喜來局一千五百圓、綾里局一千圓、泊濱局七百圓、平井賀局八百圓

熱河戰況

敵堅陣を布き極力抗日

（喜峰口十七日發聯合）長城の關門を扼する服部々隊と對時中の宋哲元は喜峰口羅文峪間に凡そ十哩に亙つて堅陣を築きつゝあり山谷と山谷との中間には大仕掛けな彈藥倉庫や堡壘所等を築いて居り西方地區には張學良軍の大部隊が續々增援し來り積極的抗日の準備を進めてゐる更に東方武靈方面からも增援軍が續々陣地に着き危機益々迫りつゝあり我が服部々隊は全線に亙つて極度の緊張裡に敵の行動を監視しつゝある

（古北口十七日發聯合）古北口前面の敵は各高地を利用し數哩に亙つて陣地を構築してゐる更に密雲に飛行場を建設し三河及び密雲飛行場間を盛んに飛行機が往來して居る順義（北平の北方）にあつた蔣介石軍は續々熱河方面に集中して積極的準備を急いでゐる又玉田方面にある敵も漸次遷化方面に移動を開始して長城方面の形勢は全く逆睹し難いものがある

我機行方不明

（錦州十七日發聯合）十六日喜峰口方面の敵を偵察した〇〇機一機は其の後行方不明となつたが多分敵彈を受けて何れかの山地に着陸したものと見られ服部部隊は直ちにその搜査を開始した

悩み拔く蔣介石

（北平十七日發電通）張學良の下野に伴ひ北支の事態は一大轉換期に臨み列國のひとしく注目する事であるが蔣介石が羅文幹をして支那の對日策變更方を研究せしめてゐるとの說に對し事實は蔣介石自身と雖も未だ何れの方向に進まんとするか肚が決定して居らぬとの說が有力である、即ち支那側の取るべき政策としては

一、積極的抗日

二、長城を境として事實上の停戰狀態に入ること

三、問題解決のために日支直接交涉開始

の三者あるが第一は支那の實力に於て不能、第二はこれを聲明する時は民衆の反對を招くべく第三は第三よりも全國的に殊に南方派の反對を受け蔣介石の地位を一瞬にして崩壞せしめる恐れがあり他面聯盟の報告書を受諾した意義を失ふ事になるので三者共に實行困難でこれらの政策を表面化する事が殆んど不可能であるとし支那側知識階級の一致した觀測として傳へられてゐる所では蔣介石は時局の成行に順應し乍らも徐ろに右第二の停戰狀態に事態を導き以て日支關係のこれ以上の惡化を防ぐ方途に出づべく右によつて停戰對立の狀態が相當期間續けらるべくその間に直接交涉の機會があつても當分交涉開始は不可能であらうとの觀測が有力である

選擧法改正案審議中止

委員會で決定す

（東京電話）衆議院選擧法改正案の政府の提出が遲かつたのと政友會を始め議員は同案の通過を喜ばざる者もあり審議遲々として進まず今日に至つたが十七日同法案委員會に至つて政友會の安藤正純君から同案の審議中止を提議し民政黨は之に反對したるも多數を以て審議中止を決定した依つて同案は完全に衆議院に於て握り潰される事となつた

醫師法改正委員會

（東京電話）十七日の衆議院醫師法改正委員會は午前一時開會前日に引續き土屋清三郎君（民政）質疑を行ひ本改正案に對する全國各府縣醫師會の反對意向を述べ今や本改正案に當面して全國に亙り醫者は非常な不安に陷り日本醫師會は今や崩壞の危機にあるがこれに對する政府當局の所見如何

と質し

▽大島衞生局長　東京大阪兩府縣醫師會は反對であり又京都の醫師會も診療費の問題で反對してゐる然しその他の府縣醫師會日本醫師會等は全部贊成だ政府は醫風刷新の爲め本改正案は絕對必要であると信ずる

と答へ更に山村豐次郎君（政友）より醫師會の反對の實狀について川口義久君（政友）より非醫者の診療所開設問題診療費問題診療鑑定問題等について質問あり大島衞生局長より夫々答辯あり午後一時三十九分散會

戰死傷者家族乘車賃優遇法

（東電）貴族院の傷痍軍人及び戰公傷病死者家族等の鐵道船舶等乘車賃優遇に關する法律案特別委員會は十七日午前十一時三十分開會淺野管船局長より遞信省としては本法案に異存なき旨を説明し同十一時四十五分散會

東京市會政派

（東電）十七日開票せる東京市會議員選擧に於ける政派別は左の通りで政友の進出が注目され同派は第一黨となつた

政友　六六

民政　六一

中立　一〇

國同　五

無產　二

合計　一四四

阿部溫知氏落選す

（東電）岩手縣出身の辯護士阿部溫知氏は京橋區から立候補したが惜しくも落選した

小澤氏も落選

（東電）岩手縣出身辯護士小澤佐重喜氏は下谷區より立候補したが次點で惜しくも落選した

文武官叙位

（東電）十七日午前一千八十六名の文武官に對し叙位の御沙汰あつた中本縣關係のもの左の如し

正四位勳四等子爵　秋田重季

正四位勳二等　杉精三

正四位勳一等功五級　野村吉三郎

叙從三位（各通）

司法關係異動

（東電）大審院部長判事西川一男氏は來る二十日停年退職につきこれが後任補充につき左の如く異動する事に決した

札幌控訴院長　清水孝藏

大審院部長（刑事）　長島毅

司法省民事局長　大森洪太

補大審院部長

任司法省民事局長

脫退後の對外方針

きのふの樞府精査委員會

（東電）十七日の樞府精查委員會に於ける質疑は主として聯盟脫退後の對外方針につき栗野委員その他より前日よりの質問を繰返し内田外相より詳細なる説明あり更に樞府委員側は

脫退通告後二ヶ年はあらゆる權利と義務を負つてゐるが政府は通告後二ヶ年聯盟の諸會議に代表を出席せしむる意思ありや脫退する以上これを中止することが至當と思ふが政府の意見如何

等の質問ありこれに對し内田外相は

政府は脫退するとも世界平和の事業達成のために貢獻する考で軍縮會議等の聯盟關係會議には出席する意向である

と述べ零時半質問を終了して散會した、尚十八日午前九時より樞府側のみにて審查委員會を開き意見を交換するが更に政府の答辯を要する事項を生じた場合政府の出席を要求する豫定である

希望を聲明して原案を承認せん

（東電）既報の如く十七日開かれた聯盟脫退に關する第二回樞密院審查委員會に於ては政府に對する質問は一通り終りを遂げたので十八日午前九時より樞密院事務所に第三回審查委員會を開き樞密院側のみ出席し聯盟の態度に就いて協議する事となつたが結局我國將來の外交方針に關する希望を表明して原案を承認すべく斯くて平沼委員長と二上書記官長の手元で審查報告書を作成し來る二十二日の定例本會議に上程の運びに至るであらう

松尾鑛山電話認可

（仙臺電話）仙臺遞信局では岩手縣松尾鑛業株式會社より認可申請の引込み線建設につき調査した結果何等支障なきものとして認可に決定その旨內申を附して本省に回附し目下本省工務局に於て審查中であるが近く正式認可ある筈右引込み線は硫黃及び硫化鐵鑛搬出のため花輪線大更驛より同鑛山まで敷設されるものである

英首相提案に各代表贊意

軍縮一般委員會

（ジュネーヴ十六日發電通）本日の軍縮一般委員會に於てイギリス首相マクドナルド氏が既報の如く聯盟軍縮案を提出するや委員會は異常の緊張を示しジュネーヴの空氣は俄かに生氣を帶びるに至つたが右提案に對し委員會席上各國代表の述べた演説要旨左の如し

▲フランス首相ダラディエ氏　余はマクドナルド氏の提案に對し其崇高なる精神を稱揚してやまない余は誠意と同情とを以て同案を研究せんこと誓約する佛國は國際平和機關の組織と併行して有効なる軍縮の實行に對し熱烈なる支持をなすものである

▲アメリカ代表ギブソン大使　マクドナルド首相の提案は軍備縮小を進展せしめる重大なるステップである余はマクドナルド首相提案の精神を稱讃してやまない然しアメリカ代表はこの提案につき今直ちに討議を開始することは出來ない、軍縮條約の締結については尚ほ充分に研究を要する何となればそれを急速に片づけることはアメリカに取つて重大問題である

▲ドイツ代表ナドルニー氏　余はマクドナルド首相の提案中において獨逸の要求する軍備均等權を含み軍備縮少の傾向に到達する事を希望するドイツは軍縮の結果が消極的でなく飽まで積極的ならむ事を要望するものである

▲イタリー代表カパレロ將軍　イタリーはイギリスの提案に對し滿腔の同情を以て共同の努力を誓約する

右演説終つて議長は散會を宣した次回は二十二日午後開會の豫定である

傭婦税賦課許可さる

八年度に新設の傭婦税賦課につき内務大藏兩大臣に許可を稟請中の所十七日附許可となつたから四日からカフェーの女給は月税一圓、料理店貸座敷の女中仲居は同五十錢を賦課される事になつた

第八師團管内徵兵官會議

第八師團管内の徵兵官及び徵兵醫官會議は來る二十四日午前八時三十分から青森市公會堂で開催されるが盛岡衞戍地よりは國崎聯隊區司令官其他關係官出席の筈

馬電奥電合併實現を急ぐ

姉妹會社とする盛岡馬淵川電氣株式會社と奥陸電氣株式會社との合併問題は數年前からの懸案で只時期の問題であるとされてゐたが今回馬淵川電氣會社の本社新築と共に實現化されるものとして一般から觀測され奥陸電の大半の株主は馬淵川電氣の株主に依つて占めてゐる狀態で何も多額の諸經費を支出し軒を並べて二つの本社を置く必要もなく此の際經費節約の上にも一日も早く實現せしむべきであるとの意見を持つて居り實現に當つては一株主の反對もなくすらすらと運ばれるものと豫想されてゐる

×

馬淵川電氣會社本社新築も愈々具體化し敷地は肴八幡平と內定二十日重役會を招集して正式決定の運びとなつたを耳にした五日町同社地元有志が移轉引き止め運動を起こし十六日町內有志が會合して是が協議の結果委員を舉げて國分社長外各重役を歷訪懇談する處あつたがこれに對し常務取締役國分義晴氏が語る

それは初耳ですが地元の人達としては當然の事でせう會社としても例へ借家住にせよ住み馴れた所を離れる段になれば決して氣持ちの良いものではないが如何せん適當の土地もないので先づ八幡平附近はよいではないかといつた調子で測量して見たまでゝ未だ此所と決定してゐる譯ではありませんしなんとか地元の人達の滿足の出來る樣解決されることでせう

盛農卒業生

△獸醫科　伊藤誠喜　泉淸光　海老吉六　西勳　小河原龜壽　及川誠一　及川忠一　米澤淸太郎　高橋與造　武田忠　山內政幸　坂本誠　佐々木欣也　關澤富司　伊藤文士　伊藤信男　山正一郎　星惣七郎　沼田淸三郎　小田進　小原龍一　小原二郎　渡邊勢三郎　川村俊夫　山芳美　勝田藤次郎　川村一郎　川村清一　吉田德三郎　吉田吉男　吉田錦一　吉田源一　吉田仁治郎　田口忠　高橋芳男　高橋正　高橋襄治　田村成一　武郎　川戍太郎　中里正男　中西善一　川長雄　武藤久四郎　野村耕一　藤國分正四郎　後藤恭平　昆野善四郎　元右衞門　金野公夫　五枚橋　淺田武夫　後藤久人　阿部長右衞門　阿部寅夫　善助　齋藤三太郎　佐々木一雄　佐藤三　佐藤典彦　櫻庭熊太郎　宮野正　三栗內正典　堀合信吉　鈴木吉郎　菅原長四郎

△蠶絲科　伊勢公平　千葉光政　千田耕三　吉田米治　高橋康二　多田正三　高橋靖　竹田勇　村橋原二　荒川恂司　阿部二男　阿部兵衛　佐藤芳郎　佐藤武男　菊池武志　勝文子重政

會頭は誰に

佐々木說と加勢說

盛岡商工會議所二級議員廿四名の顏觸れが十六、七日決定を見次いで今月下旬新議員初の臨時總會に於て會頭、副會頭各一名、常議員六名が選任される事になつてゐるが休銀問題、中小商工業者更生問題其他の重要問題が橫たはつてゐる關係上會頭副會頭選任問題が一般から多大の興味を以て迎へられてゐる。現下のところ會頭候補者に擬せられてゐるのは業者代表の加勢清雄氏と一級で當選した前會頭佐々木德太郎氏である。佐々木氏の會頭推薦説は裏面に勢力を得てゐる樣であるが然し一部議員が（電氣系）から打つて出た盛電社長加勢氏の貫祿から同氏を推してゐるので如何に狀勢がなつて行くかゞ問題である

地元としては佐々木氏適任

石川伊助氏談

會頭に加勢社長が出ると云ふことは聞いてゐるが盛岡商工會議所としては地元の者を出し休銀問題とか種々な問題を解決しなければならないと思ふ此の點から言ふと前會頭の佐々木氏などは人望があるから適任者ではないかと思ふ

加勢氏の事は考へてない

石川孝一氏談

無能であつた會議所の機能を發揮するため今改選を期して大改革をやらなければならない此の意味に於て會頭は單に飾り物ではなくしたい原則として地元から出すべきであるが佐々木現會頭には幾分不滿もあるが加勢社長は未だ考へてゐない

若いよい人を出したい

三田義正氏談

かういふ非常時には何んとしても正道を踐んで行くより他はない加勢氏の會頭は何人が見ても順當だらう、同氏とは一度しか逢つて居ないがあの人の外に誰かあると思ふか、鶴島君でもあるまいじやないか、私は加勢君を出さなかつたら會議所はやめたがよいと思ふ、今迄は地元にも人材が居るのであるが隱れて居たのだ、少し若いいゝ人を出して働らいて貰ひ度い

盛商卒業生

伊藤巌　市川武男　石洞信一郎　泉澤文一郎　磐井幸男　新里善次郎　鳥居襄雄　千葉武一　沼田敏雄　沼尻左右吉　大高龜治　小原武男　小笠原修藏　太田太郎　及川昌克　及川房治　及川大村順一　小本新一郎　鎌田兵三　岡田正六　川村正三　勝山虎雄　吉田文行　吉田禾一　高橋善平　高橋文哉　田口浩正　田山正一　竹内良一　橋八郎　中村卯一郎　中野源太郎　內藤辰一　村上安　上野五郎　上野喜三郎　野崎敏男　黑沼圭三郎　久慈榮　工藤貞一　山形寛二　山崎庄藏　柳澤秀生　松橋秀男　藤村淸六　藤原金一郎　小泉威治　照井淸一　阿部浩三　阿部正次郎　安藤善四郎　赤澤貞六　相澤襄雄　齋藤常雄　佐藤實　佐藤浩　佐藤祐一　佐々木幸太郎　北田久一　菊池兎一郎　宮喜助　三好滿男　南澤嘉右衛門　南澤嘉吉　榮內正也　日吉政人　平野幸三　菅原東一　鈴木精一

黑澤尻國同創立委員協議

國民同盟黑澤尻支會では十六日午後七時から町の俱樂部に支會創立委員會を開き種々協議の結果大体四月上旬黑澤尻支會創立總會を開催し會則役員其他を決定する筈である尙四月一日から日割を決定し江釣子、根隅川目にて黨勢擴張の演說會を開催する事になつた遊說隊としては小笠原由松、渡邊晟、郡司信太郎、戶田善四郎、鈴木軍司、八重樫豊吉、小原岩夫の諸氏である

清酒鑑評褒賞授與式

盛岡酒造組合清酒鑑評會では來る廿八日午後一時より盛岡稅務署樓上で第十九回酒造清酒鑑評褒賞授與式を行ふ

櫻城校新入學兒童父兄懇談會けふ

櫻城小學校新入學兒童父兄懇談會は十八日午後一時から同校で開かれるが新入學兒童入學前後の心得や準備等に關して懇談いたしたいから父兄の來校を希望してゐる

政友支部役員會

政友支部では十九日午後六時から盛岡市の幹事評議員會を開き市議選擧に就て協議をなす筈

朝倉氏渡露

花卷町出身東京市世田谷區經堂町機械織物會社朝倉榮三氏は露領北樺太オハ鑛業所建築のため六月上旬出發する事になり花卷町役場に十七日身元證明願ひを提出した

二子村長勇退か

和賀郡二子村長渡邊留吉氏は五月を以て任期滿了となるが氏が村長に任ぜられた事實に二十年に及び現村長に推戴を受けた時も今期限りといふ約の下に受諾したもので年齡も七十五歲の高齡に達してゐるからこの際勇退は必然であると見られてゐるが後任の村長に就ては今から非常に興味と注目をひいてゐる

和賀中耕副長混沌豫想不能

和賀郡中央耕地整理組合の規約一部改正に伴ひ副長選擧は大体三名となるが此の副長選擧は三月下旬知事の認可を待つて行はれる模樣であるが議場一致で組合長を推薦した如く果して圓滿に解決するものか疑問である候補者としては齋藤四郎　池田幸七　鈴木與惣太　日下鐵三郎　照井一郎の諸氏が擧げられては居るがこれも單なる噂の人と云ふに過ぎず全く其の空氣は混沌として豫想を許さない有樣で非常な注目を引いて居る

各地卒業式

盛岡實科高等女學校の卒業式は二十二日午前十時から講堂で擧行される

×

私立水澤幼稚園の第二十一回保育證書授與式は二十一日午後一時より同園に於て擧行されるが尚本年度の入園兒を募集中で入園料は一圓であり入園式は四月三日午後一時より擧行する入園兒申込は三月三十一日までゞあると

×

縣立水產學校第二十九回卒業式は二十日午前十時から同校講堂で擧行又宮古商業專修學校は二十二日擧行する

久慈聖書學校幼稚園卒業式

久慈町聖書學校附屬幼稚園では十七日午前十時より第一回卒業式と遊戯式を行ひ小さい生徒達の造つた手工品や遊戯、唱歌等を家庭の人々に披露した

むつみ幼稚園終了

市內むつみ幼稚園では十九日午前十時から第十六回終了兒の保育證書授與式を行ふ

水澤國倉運動飽迄貫徹期す

水澤町では農業倉庫指定國立倉庫實現運動について十二日後藤町長外町議八名が上京して農林省齋藤首相に陳情して見るべきものがあり歸省したが十八日午後一時より町當局では町會を開き陳情狀況報告を行ひ第二段の運動對策を講ずる事になり近く目的貫徹のため運動を開始する事になつた

世田米購販協議

氣仙郡世田米信購利販組合では昨年の休眠にともない殆んど休業狀態を續けて居つたが去る十六日購販組合より木炭主任の立花氏來所し同組合事業を集め融通せる資金の整理を行ふと共に同村主要產物たる木炭の共同販賣事業の復活を圖る事となり親しく協議の結果更生の道に進む事となつた

・・會と催し・・

×和賀郡二子村青年會定時總會は二十二日午後七時から事務所樓上に於て開催し役員の改選其の他を[illegible]

×和賀郡二子青年會二鄕支會の總會は十六日午後七時から事務所に開催し役員の選擧を行つた結果左の通り當選した

會長小菅福藏、副會長小原正、理事中野四郎、八重樫安夫

×和賀郡農會では十六日午後一時から同所に於て各町村農會技術員會議を開き自力更生に關して種々協議したが同郡農會では今度新たに技術員として阿部誠氏を迎えて農會不振の釁を一掃する事となつた

×一關町會は十七日午後一時より開會第十一次追加更生豫算元警部補小野寺彥左エ門氏に慰勞金二百圓贈呈の件外電柱その他寄附採納の件を原案通り可決し午後二時散會した

×花卷町納稅組合聯合會議は二十三日頃町役場に招集し奬勵金交附並納稅成績の向上に關し協議の豫定

×盛岡運輸事務所管下驛長會議は十七日午後一時より花卷溫泉千秋閣に開催高田所長外各驛長出席旅客運輸關係休暇團體募集等に關し協議する所あつたが八年度に於て三月上旬九州四國關西方面六月上旬金華山國休七月下旬北海道樺太方面盛岡正月盛釜竹駒神社參拜團等の團体募集を行ふ事になつた

×江刺郡畜產組合の總會は二十五日頃岩谷堂町公會堂に於て開催される

×膽澤郡農會主催の養豚組合定期總會は十九日午前十時より同農會樓上會議室に於て開催す

×江刺郡農會事務視察の爲帝國農會の金子副參事は十七日岩谷堂町に來り午前中は郡農會で施設經營狀況を視察し午後一時よりは岩谷堂公會堂に於て農家更生についての講演會催されたが各町村農會長農家達が約三百名の盛況であつた

×多年消防事業に功勞あつた稗貫郡矢澤村佐藤一郎氏に對し伊藤花卷署長より表彰狀並鐵製花瓶を贈呈に決定二十一日授與式を擧行す

×和賀郡二子村農業補習學校では二十一日午後一時から同村小學校で漫談大會を開催する

×元岩手縣師範教授水野辰三氏は十七日午前九時から二時間に亙り鍬ヶ崎小學校に於て女子補習科生に對しの歐米の家庭と家庭生活より見たる日本家庭生活と題して講演を行つた

三陸海嘯義捐金

（十七日本社扱）

四圓九十一錢上閉伊郡小友村女子青年團員一同　五圓東京市品川區大井元芝町九〇六加瀨方山舘うた子

小計金九圓九十一錢

累計金三千百十二圓三十七錢

縣扱ひ（十七日）

三圓田原村石谷青年團　十一圓五八錢赤石村女子青年團　一〇一圓五二錢神戸市下中修齋青年團　二十圓兵庫縣齒科醫師會一同　四圓二四錢東京市山口千代星山いは尾　二五圓神奈川足柄下郡小田原第一小學校同第一少年團同第二小學校第三小學校教職員一同　五圓神奈川縣湯本小學校職員兒童一同　二十圓神奈川縣足柄小學校職員兒童一同　三五圓日星石油會社沼津出張所員一同　三九圓一五錢岩手中學校職員兒童一同　八六圓七十錢一方井村長取扱村有志　九圓同村在郷軍人分會　十圓三十錢同村男子青年團　二圓同村女子青年團　一萬六千圓大阪府知事　四十圓東京市淺草區產婆會一同　十圓五十錢德島縣生比奈青年團星谷分團一同　十圓山口縣香梅クラブ一同　二圓衣川村河內青年團　三百圓福岡縣荒木コイシ　一圓六十錢埼玉縣明戶小學校第五ノ一組一同　十七圓栃木縣金田小學校職員兒童一同　十圓橫須賀海軍工廠造兵部岩手鄉友會有志一同　十二圓新潟縣柏崎婦人會　十七圓六九錢秋田縣刈和野少年團一同　八圓三五錢靜岡縣各富技　二圓靜岡縣清水市城南少年團　一圓同江尻傳馬町少年團　十六圓同飯田村青年團　五圓同伊佐布青年團　二圓二十錢同江尻青年團　一圓同井上蔵二　一圓十錢同二見青年團增支部員一同　五圓同有度村青年團瀧川支部員一同　二十二圓山口縣長府郵便局員一同　十二圓六十錢東京市新井昭和會員一同　二十一圓七錢東京市淺草青年團　三圓五十錢湯田村越中畑青年訓練所生徒及女子青年團　二圓二五錢奈良縣畝傍北女子青年團　一圓〇五錢安家小學校職員兒童一同　二〇圓日赤岩手支部病院職員一同　五圓聯合艦隊一乘組員　六十錢京都無名氏　三圓神奈川縣共勵小學校職員兒童一同　八圓龜ケ森小學校同　五圓田野畑村須岩泉小學校同　七圓十錢山形村新畑小學校同　二圓岩泉町本田分教場　同　二圓岩泉町青年團內之澤支會　同　二圓一二錢谷內村田瀨女子青年團　五圓山形縣莊內佛教婦人會一同　五十圓仙臺市日本放送協會東北支部　七五〇圓　二三五圓八八錢水澤警察署取扱分　二五圓宮城縣中新田町長　十二圓七四錢北海道網走郡津別村員、宗寺院　順齋寺同彌陀講員、曹宗金剛講員　四萬圓東京日日新聞社取扱　十二圓川內小學校職員兒童一同　二十圓神奈川縣田浦昭成會々員一同　十三圓十五錢江刈小學校職員兒童一同　二二三錢戶郡磐島小學校職員兒童一同　九圓五十錢藤澤町女子青年團　一圓五十錢藤澤町實業專修學校女子部生徒一同　二圓晴山村青年團　二圓五十錢長野縣尾澤正神奈川縣曾我村青年團下大井支部、同女子青年團　二十圓同中和田下大井支部、友愛少年團　七圓同實業補習學校職員兒童一同　十七圓校、同町菊池東馬　五圓樺太眞岡町小學校職員兒童十七圓　八五錢上有佐小學校職員兒童一同　十八圓　二十圓葛卷村石賀太藏　二錢同葛卷村小學校職員兒童一同　四圓葛卷村星野分教場職員兒童一　同　二圓十三錢同吉ヶ澤分教場職員兒童一同　五圓同葛卷婦人會　員兒童一同　四圓四三錢大野小學校職員一同　一圓二五錢同向田小學校職員一同　七錢同林鄕小學校同　一圓二十錢同大野同　七十五錢同向田小學校同　七圓七錢同水澤小學校同　九圓八錢同林鄕小學校同　一圓同水澤小學校兒童一同　三圓九五錢同小學校職員兒童一同　八圓五二錢仙臺市宮城女學校職員兒童一同　四十圓折壁小學校　二六圓日詰町女子青年團

日計　五萬八千五百十三圓九十七錢

累計　十七萬七千二百二十九圓五十六錢

人事消息（十七日）

◇縣衞生課稲地警部　歸盛　◇盛岡地方裁判所若林所長　歸廳　◇十七日歸廳の筈だつた森部警察部長は十八日午前十一時着急行で歸廳の旨縣に通知があつた　◇櫛田官房主事　花卷より　◇稲地警部　同　◇宮本內務省技師　北方より宮古へ通過　◇一條濟辯護士　水澤へ　◇市湖旅團長　平泉より　◇田村騎二三、西村騎二四兩聯隊長　同　◇稲富憲兵分隊長　同　◇加勢盛電社長　花卷より　◇佐々木工兵監　東京より　◇國崎聯隊區司令官　◇一條事太郎氏　花卷より

この紙面の著作権は岩手日報社が保持しています。無断転載、複製及び配布は禁止します。